



主 題 名 ささまざまな情報

教 材 名 電子メールがきたよ

人権学習の視点 個別的な視点「さまざまな人権問題」

主題・教材について 電子メールは、手軽で距離を選ばず瞬時に相手に送信することができるとても便利な情報通信手段である。児童にとっても、他校との学校間交流をしたり、友達とのやりとりをしたりする際に有効な手段であることから、近い将来よく使用することが予想される。しかし、文字だけのコミュニケーションであることから、その内容や使い方によっては、お互いの誤解やトラブルの原因となる可能性がある。メールマナーなどのネチケットについて学習することと併せて、この学習ではさまざまな情報を受け取った時の相手の気持ちを考える中で、情報にかかわる人権について考えさせたい。

ね ら い

情報を受け取った相手の気持ちを考える中で、受け取る人の気持ちを考えることの大切さを理解することができる。

本時の展開

過程	指導内容	形態	主な学習活動	指導上の留意点	教材・教具
導 入	○本時の課題を知らせる。	一斉	○電子メールについて考えることを知る。		
展 開	電子メールについて考えよう				
	○電子メールについて知っていることを発表させる中で、その便利さに気付かせる。	一斉	○電子メールについて知っていることを発表する。 ●簡単に速く送れる。 ●アドレスが分かれば、誰にでも送ることができる。 ●長い文章を書く必要がない。	○電子メールの長所に気付けるようにする。 ○実体験を持つ児童に積極的に発言させる。	資料 「電子メールがとどいたよ」
	○○さんが、受け取ったメールについて考えよう				
	○場面の設定について理解させる。 ○受け取ったメールの内容について考えさせる。	一斉 個別 一斉	○友達から電子メールが届いたことを知る。 ○メールを受け取った○○さんの気持ちを考え、ワークシートに書き、発表する。	○友達が悪口などで、とてもいやな思いをしていることに気付かせる。	ワークシート 問1
メールを使う時に大切なことを考えよう					
	○メールを使う時に大切なことについて考え、受け取る人の気持ちを考えることの大切さを理解させる。	一斉	○メールを使う時に大切なことについて考え、発表させる。	○理由をはっきりさせ、問題点について気付かせるようにする。 ○メールだけでなく、携帯電話やチャットなど日常生活の中での体験談も出させてもよい。	
ま と め	○コンピュータや携帯電話などは、便利な機器だからこそ、正しく使うことの大切さについてまとめる。	個別 一斉	○今日の学習のまとめをワークシートに書く。	○メールだけでなく、携帯電話やチャットなどでも同じことがいえることに気付かせる。	ワークシート 問2

評 価

情報を受け取った相手の気持ちを考える中で、受け取る人の気持ちを考えることの大切さを理解することができたか。